



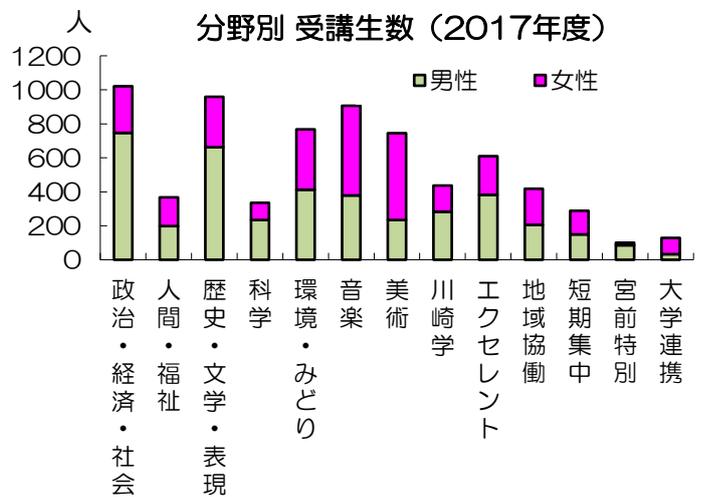
2018年度 前期スタートの状況

4月25日現在、3,586名の方が受講されており、うち355名の方が新規受講生として参加されています。

今回申し込みの多い人気講座・WSは、11を数え、「国際関係」「いのちの科学」が話題となりました。

アカデミーでは、年間100を超える講座・WSを運営し、年間600名の講師の先生方にお世話になっています。

かわさき市民アカデミーには、他にはない特徴のある講座があります。地元川崎を知る川崎学。最近の生命や異常気象、地震といった自然科学の講座。講座をもう少し深く掘り下げた討議・討論形式のワークショップです。



安全委員会の活動

安心・安全な野外学習に向けて

～野外学習のある講座の安全管理は受講生がボランティアで行っています～

安全委員会委員長 関 智義

かわさき市民アカデミーは、野外学習の受講希望者の増加に合わせ講座を増設し、現在、野外学習が8講座2WSで行われています。野外学習にはリスクが伴います。事故を未然に防止するための安全管理体制が重要になります。そのため安全委員会の設置、サポーターの配置、安全管理研修会を行っています。サポーター登録者は24名、安全委員会の構成は担当理事4名、代表世話人5名、サポーター5名です。サポーターと世話人は、安全確保のために事前に現場の状況を下見し、地形の様子や危険場所の有無などを確認し、危険のない場所と経路を考え具体的な計画を立てています。講座当日は大変な神経を使って安全確保に努めています。

安全委員会は、前・後期の講座終了後に開催し、野外学習の安全管理についての情報交換と安全対策についての調査審議を行っています。受講生、世話人、サポーターの安全に関する知識の習得と情報収集のため、座学と実技の安全管理研修会を年2回行っています。



4月度理事会報告 4月26日（木） 15:30~17:45

報告事項 20件 審議事項 2件

- | | |
|--|---|
| <p>1. 主たる報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期受講者数について ・企画・運営委員会について ・部会長会議について ・各部会について <p>2. 主たる審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 総会議案について
2017年度活動報告と2018年度活動方針（案） ・第3次中期経営計画（案） | <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講生のつどい、フェスタ各実行委員会、出版委員会、新出版事業担当、講座に関する業務監査等が報告された。2017年度末決算が示され、確認がなされた。 ・部会長会議の報告に続き、各部会の活動状況が報告された。 ・5月25日に実施の総会議案について報告された承された。第3次中期経営計画（案）も提示された承された。 |
|--|---|

生涯学習プラザのエレベーター・冷暖房改修報告



昨年11月以降、長い間故障のため使用できなかった生涯学習プラザのエレベーターの工事が5月25日（金）完了し、翌週の5月28日（月）から使用が可能となる予定です。冷暖房空調設備も、工事が完了し、使用可能となりましたことを併せてご報告いたします。

長い間、皆さまに大変なご不便とご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。

「フェスタ'18」

今年は11月3日（土）・4日（日）に開催

フェスタ（学園祭）は受講生の皆さまの学習成果の発表であり、地域団体や住民の方たちとの交流の場として毎年秋に開催されます。

フェスタ講演会にはこれまで、宇宙飛行士の向井千秋さん、熊本県立劇場館長・政治学者の姜尚中さん、東京理科大学数学体験館館長の秋山仁さんなど魅力的な講師をお招きしてきました。今年はどなたにお出でいただけるか、どうぞ、ご期待ください。

17年度実行委員長 守田 啓子

★参加企画を募集します！★

講座・WSの学習成果の発表。
形式は展示・演奏会・グループ討議・ものづくりWS・理科教室など自由です。⇒詳細は事務局まで

★フェスタの応援をお願いします★

前日から当日にかけて、会場設営・受付、古本市、バザー、野菜直売などお手伝いいただける方を募集します。⇒詳細は事務局まで



話題の講座・WSのご紹介

講座 11 みどり学Ⅰ－「身近な自然を楽しもう」

代表世話人 高田 裕司

アカデミーでは自然観察を目的とした講座は「みどり学」として始まり、年々人気の高まりで講座が追加され、現在みどり学Ⅰ（火曜・定員90名）、Ⅱ（金・72）、フレッシュ（火・40）、山の自然学（金・30）の4講座となっています。

前3講座は石井誠治先生がカリキュラム企画を担当され、各講座はほぼ同じ内容です。毎期6回（半日）は座学で多彩な講師による樹木・草花・虫・鳥などの新鮮な話題の講義で自然への興味・知識・新しい発見があります。また毎期3回（全日）の野外学習は公園・植物園などで、講師の丁寧・当意即妙な説明で自然への知識を高め、自然の妙を楽しんでいます。みどり学Ⅰは受講生が90名と多い中、安全で適切な受講環境作りと、受講生間の交流の促進を世話人中心で推進し、また要望で世話人自主企画による野外観察会を毎期2回開催しています。



上を見てください！

WS-7 芸術 「油絵を描くー技法を基礎から学ぶ」

代表世話人 村田 修

芸術WSは、前期は油絵、後期は水彩画の実技が中心の講座です。前期、後期共に静物及び人物の絵3、4点を仕上げることとなります。

講師の佐藤道子先生には、受講生の個性や力量に合わせて指導していただいております。最終日が講評会となります。

また、受講生とOBの有志で彩会展を立ち上げ、今年も8/31～9/5に第4回彩会展を高津市民館ギャラリーで行う予定になっています。

皆さまのご来場をお待ちいたしております。



講座風景

首都圏・関西圏シニアカレッジ意見交換・交流会開催

3月7日（水）、シニアカレッジを運営する大阪、兵庫、徳島、東京、千葉の各団体が参加し、当アカデミー役員との意見交換会・交流会が開催されました。

第Ⅰ部では、はじめに大阪府高齢者大学校和田征土理事長から開会・交流会の主旨について、「使命・目的を共有し、全国的な広がりを目指したい」とのお話をいただきました。記念講演では藤嶋理事長から「光触媒の発見と広がり」を、基調講演では太田学長から「かわさき市民アカデミーの成り立ちと現状」についてお話がありました。

第Ⅱ部では、2グループに分かれ「各学校が目指すところ」をテーマに設立の経緯・主な運営の特徴・団体の将来像等について報告があり、グループ発表で終わりました。

当アカデミーでは役員全員が参加し、他団体の活動状況を聞く機会を得、参加の皆さまと意見交換を行いました。



大阪府高齢者大学校 和田理事

かわさき市民アカデミーの変遷—シリーズその5—

市民の手による自主運営と講座の充実・受講生の増大（2009～現在）

NPOが活動を開始した2007年から2010年までは、自立に向けた準備期間ということで、NPOと生涯学習財団と二人三脚でアカデミーを運営してきました。その期間が2011年に終わりを迎えることになったのです。アカデミーの運営が生涯学習財団の手を離れると、それまで財団が行っていたカリキュラム委員会やフェスタなどは、NPOが主催しなければならなくなり、そのための費用捻出や受講生募集を初めとした事務作業も、NPOが一手に担うことになります。こうした財政負担増に加え、事務量の増加に備えて事務局員を増員することになると、1,500万円を超える赤字が発生するという見通しが示されました。

このままでは財政的にアカデミーの存続が危うくなると考えた理事会では、存続に向け財政基盤の確立を柱とした「第一次中期経営計画」をまとめました。計画では、赤字解消を目指し受講料の値上げと講師謝金の減額を行うことにしましたが、それだけでは根本的な解決にはなりません。最終的には受講生増、それも200人以上の増加が必要とされました。

理事会では、受講生を大幅に増やすために、それまでの枠組みにとらわれず、多くの受講生が興味関心を示すような内容の新講座開発に取り組みました。こうして生まれたのが複合講座「エクセレント」でした。2009年「世界を旅する」のタイトルで始められたエクセレントⅠに続いて、2010年に宗教をテーマにしたエクセレントⅡ、2011年には文明と科学をテーマにしたエクセレントⅢが開設され、2011年前期には3つのエクセレント講座だけで400名以上の受講生を集めたのです。

同時に「アカデミー事業を望ましい形で推進するには、多くの先生方の運営参加が不可欠」という当時の和田あき子学長の考えのもとに、副学長の数を増やし、学長・副学長・NPO理事会代表・生涯学習財団代表からなる企画・運営委員会を設置するなど、運営機構の整備・強化も行われました。こうした努力もあって、2012年には前期33・後期34の講座・ワークショップを開設し、年間受講生数も延べ6,329名となって、初めて6,000人を超えました。そして、開学以来20年にわたって「川崎市の文化事業の一翼を担う存在」であり続けたアカデミー事業が評価され、和田学長（当時）にこの年の川崎市文化賞が贈られました。

1993年に講座・ワークショップ数14、受講生550名でスタートしたアカデミーは、これまでこの連載記事で紹介した皆様をはじめ、多くの方々の方に支えられて今日を迎えました。開学から四半世紀になる現在では、講座・ワークショップの数が52に増え、受講生の延べ人数も、開学時の約13倍、年間7,042名にまで増加したのです。



和田 前学長 川崎市文化賞受賞

編集後記

このかわら版69号が、皆さまのお手元に届く頃には、前期がスタートし1ヶ月が経っています。

皆さまは、受講生の仲間と素晴らしい講師の先生方との充実した日々をお過ごしのことと思います。

ところで、世話人の皆さん、担当理事は、早くも10月から始まります後期のカリキュラム編成に向けて、コーディネーターの先生方と講座・ワークショップのテーマ、内容について検討に入っています。

さらに充実した知的冒険の旅に出かけられるか

認定 NPO 法人

かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会

編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話:044-733-5590

FAX: 044-722-5761

問合せメールアドレス:

info@npoacademy.jp

ホームページ:

http://npoacademy.jp/